

04

Feeling like a small trip



百合が原公園01 みんなの”お気に入り”を体験する。

公園のシンボルとなる約百種のユリをはじめ、多種多様な植物が各々のテーマのもと植栽されている、札幌市を代表するフラワーパーク。遊具広場やパークゴルフ場など遊びとスポーツの施設もある公園で開いた、みんなの”お気に入り”から、見どころ探しみどころを見つけてみては。

子どもたちに大人気の遊具広場。ジャンゲルジムのようによじ登るスカイネットやターザンロープ、いくつものアスレチックが繋がった、遊び応えあり！の大型遊具がいろいろ。

スカイネット (遊具)

園内約1.2kmを、オープンエアの席もある列車でのんびりと1周。四季折々の花々を紹介する車掌さんのユニークなトークに惹き付けられる。廃食用油により生成されたバイオ混合燃料使用で環境にも配慮。

リリートレイン



そうちゃん



福川 俊太郎くん



よこたさんご夫婦

サイロ

この地域がかつて酪農地帯であったことを今に伝えるシンボル。サイロを背景に四季折々の植物を写真に収める方も多い。

全9ホールが無料！初心者でもプレーしやすいコースで、用具もレンタルできる(有料)。
※月休(祝日の場合は次の平日)

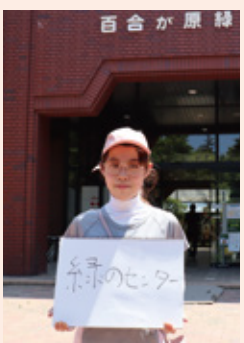
パークゴルフ場



百合が原寿会の皆さん

百合が原 緑のセンター 温室

大・中・小の温室があり、1年を通じてその時々が開花する草花、花木などを展示。大温室にはシンボルツリーとして愛されるギンヨウアカシア(ミモザ)をはじめオーストラリア原産の花木、道内では自生しないツバキが多数植えられている他、鉢植え栽培のコレクションも見応えがある。



桐山 理帆さん



05

Feeling like a small trip

百合が原公園02 ”植物愛”に目覚める。

6月から8月にかけて見頃を迎えるユリはもちろん、温室では1年を通して花々が咲き誇る。札幌や北海道ゆかりの品種コレクション、バラにダリア、宿根草やハーブなど、希少な植物群だけでなく、ガーデニングなどの知識も得られる公園で、植物愛が沸騰する。



おすすめコレクション

- 【ライラック】5月下旬～6月上旬 札幌市の木が約50種類も
- 【ハマナシ】6月中旬～7月 北海道の花が約50種類も
- 【アザレア】2月初旬～下旬 道内最大級のコレクション
- 【ミモザ】2月下旬～3月中旬 大温室のシンボルツリーが満開に
- 【ツバキ】2月下旬～3月下旬 道内最大級のコレクション

ボランティア活動と 持続可能な公園管理

公園では、現在4つのボランティアグループ、約50人が活動中。職歴や年齢もさまざまな方々が、知識や経験を生かしながら、公園の歴史や花の案内、各花壇の手入れなどに携わる。また持続可能な公園管理を目指し、環境への配慮や植物リサイクルなどの取り組みも積極的に行われている。ボランティアの皆さんの活動に感謝と敬意を持ちながら、環境への取り組みを知ることで植物を通じ地球との距離がぐっと近くなることも魅力の公園だ。

私たちの”お気に入り”の植物です！



ガイドボランティア 岩田 テツ子さん

ガイドボランティア 今村 秀憲さん

ガイドボランティア 佐藤 光輝さん

「お散歩ガイド」で”植物愛”を深めませんか？